

---

# 純愛 ~ありがとう~

葉月

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

純愛～ありがとう～

### 【Zコード】

N7447Z

### 【作者名】

葉月

### 【あらすじ】

突然お兄ちゃんができちゃったおんなのこのはなしです

## 家に美形がやつてきた

もし、突然兄ができるたらあなたはどうしますか…？  
しかもそれがあからさまにもうそうなイケメンだつたりしたら…！  
普通の女子中学生としてはどうしたらいいんですかあつ。

時は数時間前にさかのぼります。

いつも通り学校から帰つてドアをあけたお母さんと若い男の声…。

「ほんと、唯<sup>ゆい</sup>くんはかわいいわねえ」  
「いえ、そんな…ほんとありがとうござます。お母さん  
お母さんっつ…？なんで…？どうして…？どうしたの…？  
おやるおやるコピングにこくと カラカラの髪に切れ長の目  
やさしそうな笑顔のあたしの学校の高等部の制服をきた美少年がお  
りました

「おやつをおやせん…？」びりこりんよ、しれはー。  
「あらあ、おかえり、愛莉。今日からつかの息子になつた、唯く  
んよ」  
!!

## 美形の事情（前書き）

なんかありがちな感じですみません…

## 美形の事情

「はじめまして愛莉ちゃん。今日から山本家にお世話になる山本唯です」

「は…はじめまして。山本愛莉、城門学園中等部2年1組41番ですっ」

「愛莉、お父さんの親友の息子さんよ。この間の地震で観光に行つていたじ両親が…」

「お母さん、重い話は置いとこ…。オレ、この明日から城門高校の高等部に転校するんだ。よひじく なんで、愛莉ちゃんが泣くんだ…」

「『めんなれ』…明日からよひじくお願いします」  
逃げちゃつた…自分の部屋に…だつて、悲しそうな

『ノンノン』

ノックと同時に唯さんが入ってきた

「愛莉ちゃん、オレはね、親父とお袋が死んでも悲しかったよ。でも、一人は一緒に死ねたんだ。せめてバラバラじゃなくてよかつたと思つてる…だから、泣かないで」

「…はい」

「それで、オレ高等部1年1組なんだけど担任つてどいつひとつ?

「松本先生…40歳くらいの男の先生で、社会の先生。太つてるけど、話はおもしろいです」

「そうかー。結婚してる?」

「してない、うえにはげてます」

「アラフォーで未婚で太つてて、はげ?残念な感じだなー」

「アハハ、そうですねー。松本先生はおもしろいんですけど、学年主任の一階堂先生はこわいです。」

「もしかして、数学?」

「国語です」

「残念、はずれたか。じゃあ、夕食を食べに行こう。今日はカレーだつて」

唯さんが出ていくと部屋が少し暗くなつた感じがする。明日、あんなかつこいい人が転校してきたり話題になるだろ?」な

## 尊の美形の鱗丸（複数形）

「んばんはー、いまサブタイトルの付け方になやんでいます。なので  
サブタイトルがめちゃくちゃです…」

## 噂の美形の騒ぎ

「愛莉ーーー！今日一緒に登校してきた人だれよ？すごいかつこよかつたよねーーー！」

「アーニー、立つてた」

朝、教室に入ると案の定にクラスの子に質問攻めにされた。

「お兄ちゃん。きのうできたの」

! ?

やう」と爆弾発言をして

「えー？ なにそれ！？」

「呂イシミ

「紹介してよ!!!」

元亨利貞

タインング良くドアが開いて

「愛莉ちゃん！！」

「唯さん。クラスの子たちがつて、え!?」

「」「」「」「」「」  
「」「」「」「」「」

やつよ、誰がこいつだ。

「身長何センチですか？」

「体重は？スリーサイズも！？」

「写真撮つていいいですか?」

なんか、すゞい騒ぎに……案内はできないかな……

『キーんコーンカーンコーン』

予  
鈴  
だ。

「うわけで、  
穢れちゃんせいかく約束したの」「めん。  
また

ね  
！」

唯むかせ風のよひに吹つてこきました。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7447z/>

---

純愛～ありがとう～

2012年1月5日23時46分発行